

(様式2)

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」における  
「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究(小・中学校)」  
平成23年度委託事業完了報告書  
【推進地区】

都道府県名	山口県	番号	35
-------	-----	----	----

推進地区名	山口市
-------	-----

○ 推進地区として実施した取組の内容

1. 重点課題への取組状況

① 校内研修の充実と授業改善の推進

本市は、確かな学力の育成に向け、『校内研修の充実』と『授業改善』を推進するために年度当初、校長会や教頭会、教務主任会、研修主任会等でこの取組の重要性を周知した。そして、本取組を推進するために、指導主事を学校担当制とし、学校訪問を日常的・継続的に行い、学校の課題に応じた支援を行ってきた。具体的に、『校内研修の充実』については、各学校の校内研修体制の確立や研修方法の工夫、活性化に向けた指導助言を、『授業改善』については、「授業のねらいを板書する」ことを徹底し、「よい授業づくりチェックリスト」による授業評価を行うことで、教員の指導力向上に努めるなどした。

そのような中で推進校に対しても、研修主題に示されている「主体性」と「自己表現力」の育成を図るための校内研修の支援、授業改善に向けた指導助言を定期的に行った。推進校では、校長を中心とし、教頭、研修主任が分担して研修を進める校内体制を確立し、全教職員で学習指導要領国語編を読み解くなど、授業改善に生かす取組を行った。取組の成果としては、11月4日に『中間発表会』を開催し、『研究冊子』も作成した。

② 研修会や研究会による学力向上の取組の推進

市内小・中学校の研修主任会に対し、本市は「指導力向上に関する研究」を委託し、各学校における研修推進リーダーの資質の向上を図る研修を充実させるとともに、学校間の情報交換を行うことで、研修の具体的な方策を学ぶ機会を提供した。中でも、小学校研修主任会については世話役を推進校の研修主任としたことで、本事業の成果普及にも役立てた。

また、推進校が取り組む「言語活動の充実」については、市内の各学校でも研修のキーワードとしている学校が多いことから、山口市教育研究会の各部会等でもそ

の取組を普及、周知した。

推進校の取組の成果として、研修主任会については研修のまとめを本市が維持管理しているネットワーク上にアップロードし、山口市教育研究会については各部会等で取組の紹介、報告を行った。

## 2. 調査研究の成果及び今後の課題

### ① 「主体性」と「自己表現力」の育成について

・本市の担当指導主事を中心とした継続的な学校訪問を本年度、延べ40回以上行ったが、年度当初の実態と比較すると、授業への取組の姿勢、教室の掲示物、学習の成果物等から見取った児童の変容として、少しずつではあるが「主体性」「自己表現力」が伸びているととらえている。

・推進校が小規模校であることから、人間関係の固定化が「主体性」や「自己表現力」の育成の障壁となっている面があるので、今後は、人間関係の固定化を利点ととらえ、チームワークの向上という点から「主体性」「自己表現力」の育成に努めていくことが望まれる。

### ② 校内研修の充実と授業改善について

・研究指定校として研修を焦点化し、研究成果を追究し、発表会を実施したり、成果報告を冊子にまとめるなど、明確な目標をもって本研究に取り組めたことで、校内研修が充実するとともに、授業改善にもつながった。具体的には、研修主任会のうちの1回を『中間発表会』と兼ねて実施したことで、各学校の校内研修の充実はもとより、授業改善の視点を示唆することにもなった。特に、国語科における第三次を中心として構成された授業は、他校の参考になった。

また、本事業に係る予算を県内の優れた外部講師の招聘に活用したが、多様な視点から指導を受けることができ、研修を活性化させることになった。さらに、文部科学省教科調査官、山口県教育委員会指導主事の指導を受けることもでき、学習指導要領の趣旨に添った授業づくりを充実させることもできた。

・研究指定校を受けることの利点は、校内研修が充実し、そのことが授業改善、ひいては子どもたちの成長に寄与するところにある。今後、推進校においては本年度同様に、明確な目標づくりと計画的な成果検証が繰り返し行えるよう、本市としての支援を継続したい。